

9月は「がん征圧月間」！今、考えよう！がんのこと がん予防普及啓発イベント開催！

区では、「がん征圧月間」に合わせ、がん予防普及啓発イベントとして、13日（土曜）、セシオン杉並（梅里 1-22-32）で、タレントの原千晶さんによる講演会を実施します。また、杉並保健所（荻窪 5-2-1）等では、がんと診断された方等の作品展示会を開催しています。がんを自分のこととして考えてもらい、検診などがん予防の重要性を伝えながら、早期発見・早期治療につなげていきます。

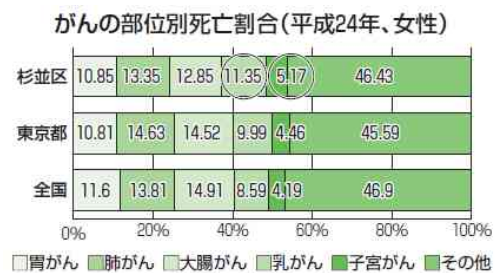
今、日本人の死因の第一位はがんです。杉並区においても、平成25年の死因の第一位はがんです。がんは、早い時期に見つければ、死に至る病気ではなく、治療法も進んでいるため、定期的に検診を受けることが大切です。

そこで、区は、「がん征圧月間」に合わせ、がんの早期発見・早期治療につなげるため、自分のこととして、がんについて考えてもらおうと、がん予防普及啓発イベントを実施します。

杉並区の場合、部位別にみるがんの死亡割合が、乳がんと子宮頸がんが全国平均より高くなっています。しかし、平成23年区民健診・がん検診に関する区民の意識・意向調査では、「区や職場が実施する検診を受けた」や「個人的に検診を受けた」人は、乳がんで40.8%、子宮頸がんで44.6%に留まっています。

こうしたことから、イベントでは、特に女性のがんに着目し、子宮頸がんを治療された経験のある、タレントの原千晶さんによる講演会を実施します。杉並保健所では、女性のがんは若い世代での発症が増えているので、20～30代の方にも聞いてほしいと話しています。また、「がんと生きる、わたしの物語展」と題し、がん当事者などの作品展示を開催します。

自分、家族、友人 がんはいつ誰に起こるか分かりません。がんについて、“いつか”考えるためではなく“今”考えるため、ぜひご来場ください！



がん予防普及啓発イベント

講演会「がんは突然やってくる～大切にしたい自分の体」

【日時】9月13日（土曜） 午後2時～4時

【場所】セシオン杉並（梅里1-22-32）

【講師】原千晶さん（タレント）

【定員】500名（先着順） 当日直接会場へお越しください。

【その他】参加費無料。来場者にはエコバッグを差し上げます。

展示会「がんと生きる、わたしの物語展」

がんになっても自分らしく生きることのメッセージを込めた、がんと診断された方やご家族、友人による絵画・写真等の展示（約30点）

【日時/場所】

杉並保健所ロビー（荻窪5-2-1）/9月30日（火）まで

杉並区役所ロビー（阿佐谷南1-15-1）/10月8日（水）・9日（木）

【協力】日本イーライリリー株式会社



エコバック

女子美術大学短期大学の学生がデザイン。検診を受けることで、風船に例えられた健康を手放さず、しっかり掴んで欲しいとのメッセージが込められています。